

市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	平成22年 7月 8日 (木) 午後7時30分～午後9時10分		
会場	嶋公民館(島1・2・5、泉町、南新町)	出席者数	30人 (男26・女4)
地域座談会の内容 (市長講話・質疑応答の内容等)			
<p>【市長講話】</p> <p>大阪でのトップセールスや昨年度実施された座談会での意見などについて報告を行い、「市政に関する地域座談会」の資料を用いて、将来人口推計・少子化対策・地域福祉計画・振興計画の見直しなどを中心に講話</p> <p>【質疑・応答】</p> <p>1 (質問：意見) _____</p> <p style="padding-left: 2em;">最上川寒河江緑地公園でカヌー大会が行われるようになった場合の会場へのアクセス道路として、市道皿沼島線や堤防の整備について伺いたい。</p> <p>(回答：市長)</p> <p style="padding-left: 2em;">入口の取り付け道路は整備していくが、園芸試験場の通りについては、側溝の蓋かけをして車のすれ違いが可能になるようにしたい。側溝の蓋かけについては、市で蓋を準備して地域の協力を得て行えば1/3の経費で済むので、是非御検討願いたい。</p> <p>2 (質問：意見) _____</p> <p style="padding-left: 2em;">① 南部小学校のビオトープの土地は借地であり、地権者が手放したい意向であるとの話を聞いたが、市で買い取ることはできないか。</p> <p style="padding-left: 2em;">② 産業通りの三菱自動車と高松木材の間の農道の拡幅について、15年程前に説明会が行われたが、その後どうなっているのか伺いたい。</p> <p>(回答：市長)</p> <p style="padding-left: 2em;">① 先般、要望を受けて検討を始めたところです。子供たちの情操教育の場所として地域の皆さんと育まれてきた所なので、地権者の考えもお聞きしながら教育委員会、学校とも相談し残していく方向で検討中です。</p> <p style="padding-left: 2em;">② この場で回答が困難なため、計画・いきさつ・今後どうなるのかも含めて、来週中に町会長さんにご報告いたします。</p> <p>3 (質問：意見) _____</p> <p style="padding-left: 2em;">市道から学校までの通路 (ビオトープの反対側) で、民地のフェンスと</p>			

現在通路との間約 50cm（雨水排水管）を整地して子供が安全に通学できるようにしていただきたい。

（関連意見）

あそこは、以前農地だったので、学校までの道路を切るとき農地に雨水が入らないようにアスカーブにした。今は宅地なので必要ないと思う。

（回答：市長）

調査して改善できるところは、直していく。

4（質問：意見）—————

① 最上川ふるさと総合公園用地買収が全て決定する予定であるが、高瀬山緑地公園計画について、市は積極的に参画していくのか県に一任なのか伺いたい。（芋煮会をする広場を要望したが、地元にも話も無いままバーベキュー広場となったことへの不満）

② 最上川の堤防の交通量が多くなっている。幅が狭く危険なので、閉鎖または拡幅の要望をできないか伺いたい。

（回答：市長）

① 県に対しては、遺跡に隣接しており、また地域の中の公園という要素もあるので、それにふさわしい公園にして欲しい旨要望しており、これからも地域の声や要望を伝えていく。

② 堤防については、国土交通省にも相談し、周辺整備と併せて検討していく。

（関連意見）

中山町長崎の堤防で、ポールや看板を設置し大きな車が入れないようにしている実例がある。

（市長）

先程の水面広場については、県カヌー連盟より早急に整備して大会に活用できるようにして欲しい旨の要望がある。市内の中学校に愛好会やクラブを作り養成し、競技力の充実を図らないとうまく利活用ができないので、両面で整備していかなければならないことを付け加えます。

5（質問：意見）—————

マツダ自動車のところから寒河江駅前方面に向かう車や、皿沼方面への近道として交通量が多くなっており、計画的な道路の整備をお願いしたい。特に、マツダ自動車近くの踏切から島側 20～30mの所の舗装が継ぎ接ぎ状態で危険なので、全体舗装をお願いしたい。

（回答：市長）

踏切のところについては、現場確認をし、早急な整備が可能であれば、早急に対応したい。

6 (質問：意見) —————

南部地区でも他地区同様高齢者が増加している状況であり、近くにスーパーが無くなり買い物にも困っている。福祉バスの運行等、市長の考えを伺いたい。

(回答：市長)

公共交通機関が無い地域からの要望もあり、デマンドバスを運行した場合の利用者数把握のためアンケートを実施したが、結果が芳しくなかった。

(回答：総合政策課長)

昨年、高松・柴橋地区から話があり全戸アンケートを実施した。結果、利用したい人は回答者全体の2割であったため、実施していけるのかまだ検討中である。

(回答：市長)

タクシー券の制度等、他の手段も検討したいと思っております。

7 (質問：意見) —————

① 島から花咲かフェア会場に行く高速道路の側道（石橋ブドウ園から直角に入ったところ）が冬期間除雪されていない。多くの人が利用しているので、側道であっても除雪をお願いしたい。

② また、交通量が多いので拡幅をお願いしたい。

(回答：市長)

① 市道でないかもしれないが、冬に向けて検討していく。

② 市道でなければ難しいかもしれないが、待避する場所などについて研究していきたい。

8 (質問：意見) —————

旧寒河江自動車学校の下は通学路にもなっているので、もっと明るくできないか伺いたい。

(回答：市長)

通学路で街灯が少ないとか暗い所については、東北電力から寄付を頂いている防犯灯を整備して安全な通学路にしていく。

(回答：市民生活課長)

毎年、東北電力からの寄付 20 基に加えて、市で 10 基、合計 30 基を準備して対応している。防犯灯は、電柱や電話柱に添架する方法を採っているが、電柱があれば直ぐ付けられるものではなく制約がある。要望の箇所については、電柱も無いため付けられない。不審者については、防犯パトロールの強化やセンサーライトを付けることも考えられ、具体的にこれから検討していく。

(回答：市長)

現場を確認して検討していくので、地域で優先順位を付けて要望していただきたい。

9 (質問：意見) —————

最上川緑地公園の維持管理は地域で行うことになるのか、市で行うのか
お伺いしたい。

(回答：市長)

地域、市、指定管理者などの方法があると思うが、全体が出来上がるま
では市の方で管理をすることになると思います。全体完成までの期間の中
で、将来、どのような管理体制を作っていくか知恵を出し合って決めてい
きたい。

後日に回答した事項等

○ 産業通りの三菱自動車と高松木材の間の農道の拡幅について、15 年程前に
説明会が行われたが、その後どうなっているのか伺いたい。

【建設管理課】

<回答>

ご質問の箇所につきましては、都市計画道路 3・4・8 古河江横道線が計画
されております。

この道路は、幅員 16m、延長 1,430m で、起点は産業通りの高松木材付近から、
終点は、みずき団地のヤマザワ付近のところまでとなります。

この路線につきましては、将来に向け、古河江・茨江・横道地区の一体とな
った土地利用を図り地域内交通の一層の円滑な処理を確保するために、平成 3
年 12 月 17 日に新たに計画された道路であります。(県告示第 1458 号)

計画するにあたりまして、関係地区等への説明会を実施したところでござい
まして、ご質問にありました説明会につきましては、この時に行ったものと考え
ています。また、広く周知を図るため、市報掲載や計画の縦覧に供している
ところでもあります。

本市においては、昭和 25 年から都市計画道路につきましては、新たな決定や
変更を行いながら現在の道路計画としております。

当該路線につきましても、今後整備を進めていく計画であります。計画道
路全てを一挙に整備できないことから、優先順位を決めながら順次整備を進め
ているところであります。

この都市計画道路 古河江横道線につきましては、現段階での具体的な整備
計画はございませんが、整備を進めていく際には、関係者並びに地域の方々
に対して説明会を開催してまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力を
賜りますよう、今後ともよろしくお願いいたします。

○ 市道から南部小学校までの通路（ビオトープの反対側）で、民地のフェンス
と現在通路との間約 50cm（雨水排水管）を整地して子供が安全に通学で
けるようにしていただきたい。

(関連意見)

あそこは、以前農地だったので、学校までの道路を切るとき農地に雨水が入らないようにアスカーブにした。今は、宅地なので必要ないと思う。

【学校教育課】

<回答>

7月12日に現地を調査して次の通り対応することといたしました。

市道からの入り口部分（通路の看板があるところまで）の西側のアスカーブについては、撤去して舗装し安全を確保します。

通路に看板が設置されている部分については、アスカーブと隣地との境界の間は盛土を行い、段差を解消します。なお、登下校の通学の際は看板を設置している部分のアスカーブには上がったりしないよう学校で児童に指導して安全を確保できるように努めます。

※ アスカーブ：道路の雨水が民地に流れ込むのを防ぐためにアスファルトで作ったかまぼこ型の工作物